

<目次>

1. はじめに.....	1
2. セットアップ作業を始める前に.....	1
3. プロテクトキー.....	1
3.1 種類&形状.....	1
3.2 取扱い上の注意事項.....	1
3.3 接続時の注意事項.....	2
3.4 キー情報.....	3
3.4.1 キー情報とは.....	3
3.4.2 キー情報ファイル.....	3
4. 運用環境.....	4
4.1 ネットワーク運用.....	4
4.2 スタンドアロン運用.....	4
5. JSPユーティリティのインストール.....	5
6. JSPユーティリティの機能.....	6
6.1 キー情報登録.....	6
6.1.1 キー情報ファイルの確認.....	6
6.1.2 キー登録情報の更新.....	7
6.1.3 キー登録内容の確認.....	8
6.2 端末環境設定.....	9

お問い合わせ

弊社ホームページに「お問い合わせフォーム」をご用意しております。

お気軽にお問い合わせください。

◆技術的なお問い合わせ

<https://www.jip-ts.co.jp/contact/support.html>



1. はじめに

このセットアップガイドは、JSP ユーティリティのインストールと使用方法を記したマニュアルです。

2. セットアップ作業を始める前に

- ・実行しているアプリケーションはすべて終了してください。
- ・ネットワーク運用でライセンスサーバの場合、またはスタンドアロン運用の場合には、パソコンにプロテクトキーが正しく接続されていることを確認してください。
- ・作業を行う場合は、必ず「**管理者権限**」で行ってください。

3. プロテクトキー

プロテクトキーは、プログラムを実行するために必要です。
ライセンスの管理を行うパソコンに接続してください。

3.1 種類&形状

弊社で提供しているプロテクトキーの種類について、以下に説明いたします。

タイプ	名称	接続先	特定の方法
 (蓋付き)	USB キー(キーA)	USB ポート	キーホルダーに貼付するシール(黄色)に『キーA』と記述しています
	USB キー(キーB)	USB ポート	キーホルダーに貼付するシール(緑色)に『キーB』と記述しています

※ご使用のソフトウェアにより使用するプロテクトキーの『キーA』、『キーB』が変わります。

※『キーA』と『キーB』のプロテクトキーは、全く同じ形状・色のため、前述の【特定の方法】により区別しています。

3.2 取扱い上の注意事項

プロテクトキーはデリケートな精密機器です。誤った取り扱いは、プロテクトキーの故障の原因となります。以下の事項に注意してください。

- ①静電気による破損を防ぐため、プロテクトキーに触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシ)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。特に冬季については、静電気が発生しやすいので注意してください。
- ②プロテクトキーの取り付け・取り外しの際は、パソコン本体・周辺機器の電源スイッチを OFF にしてください。
- ③過度な振動、落下、衝撃などをプロテクトキーに加えないでください。
- ④濡れた手でプロテクトキーを触ったり、水などの液体がかからないようにしてください。
- ⑤電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用・他の機器とのタコ足配線をなるべく避けてください。

3.3 接続時の注意事項

パソコンにプロテクトキーを接続する場合は、以下の事項に注意してください。

※HASP25 キーは、2006 年 7 月 31 日をもって提供を終了しました。

①同一パソコンに、弊社同種類の USB キーを複数本同時に接続することはできません。



同時接続	可否
キーA + キーA	×
キーB + キーB	×
キーA + キーB	○

②同一パソコンに、弊社 USB キー(キーA)と弊社 HASP25 キーを同時に接続することはできません。

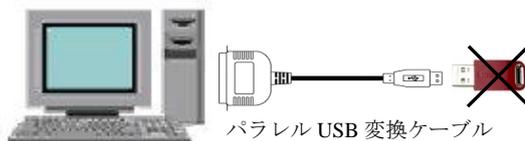


同時接続	可否
キーA + HASP25 キー	×
キーB + HASP25 キー	○

③USB ポートにパラレル変換ケーブルを接続し、HASP25 キーを接続しても認識できません。



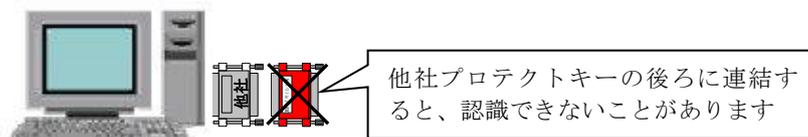
④パラレルポートに USB 変換ケーブルを接続し、USB キーを接続しても認識できません。



⑤同一パソコンに、弊社 HASP25 キーを複数連結しても、後ろの HASP25 キーは認識できません。複数連結した場合、最悪のケースではプロテクトキーが破損することもあります。



⑥他社のプロテクトキーを連結して使用する場合の注意として、他社プロテクトキーをパソコンと弊社プロテクトキーの間に入れると、弊社プロテクトキーが認識できないことがあります。その際は、順番を入れ替えてお試してください。また、他社のプロテクトキーを間に挟んで使用した場合、最悪のケースではプロテクトキーが破損することもあります。



3.4 キー情報

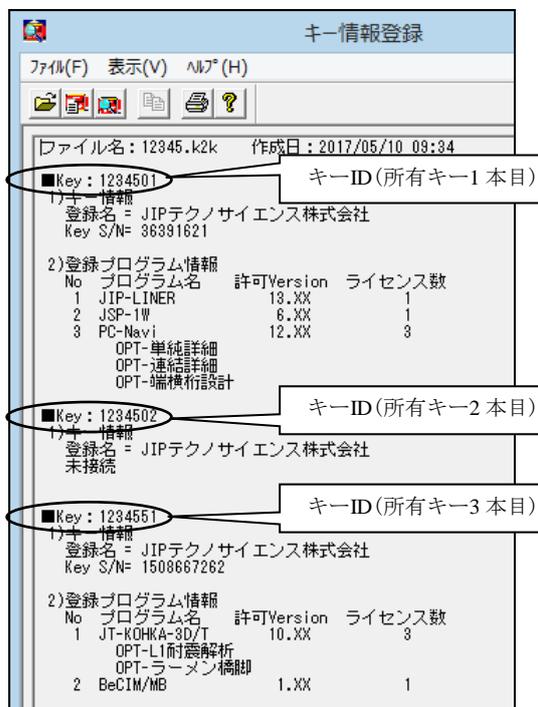
3.4.1 キー情報とは

プログラムが実行できるようにプロテクトキーに登録するための情報を**キー情報**と呼びます。プログラムを実行するためには、プロテクトキーにキー情報を登録する必要があります。納品時にはプロテクトキーに**キー情報は登録されておりません**。キー情報の登録はユーティリティを使用して行います。

3.4.2 キー情報ファイル

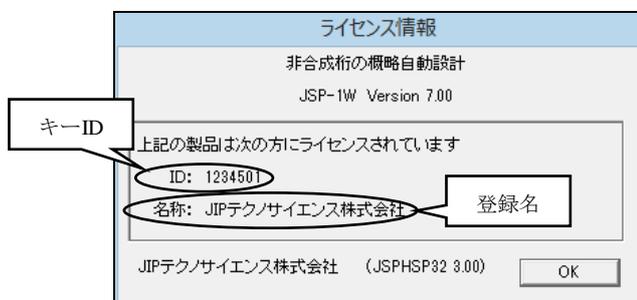
キー情報ファイルは、ユーザ ID(5桁)に拡張子「.k2k」を付けたファイルです。また、複数のプロテクトキーを所有している場合でも、キー情報ファイルは、ユーザ ID(5桁)に拡張子「.k2k」を付けた1つのファイルで管理しています。

◆キー情報ファイル内の各項目の説明



キー情報ファイル内

- ファイル名
キー情報ファイルのファイル名
- 作成日
キー情報ファイルを作成した日時
- Key (=キーID)
お客様固有のキーID で、『ユーザ ID』の最後に 2桁数字を追加した **7桁**のコード。プロテクトキーに付属しているキーホルダーに貼付しているシールの ID7桁の数字を指します。
※プログラムを起動した際、ライセンス情報ダイアログに ID を表示しています。
- 登録名 (=名称)
お客様の貴社名
※プログラムを起動した際、ライセンス情報ダイアログに名称を表示しています。
- Key S/N
プロテクトキー毎のシリアル番号
- No
プログラム番号



ライセンス情報ダイアログ

- プログラム名
実行可能なプログラム名
- 許可 Version
実行可能なプログラムのメインバージョン番号
- ライセンス数
ネットワーク運用をする場合、同時に同プログラムを実行できる数

4. 運用環境

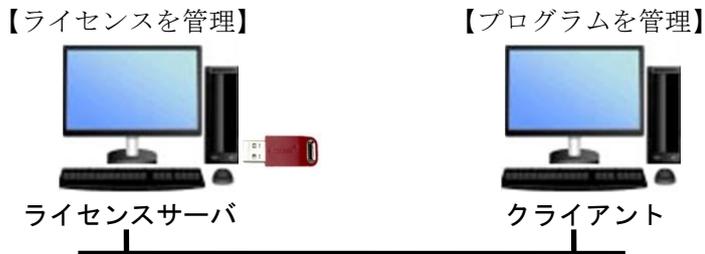
運用環境には、ネットワーク運用とスタンドアロン運用の2つがあります。

運用の切り替え方法については、「6.2 端末環境設定」(P9)を参照してください。

4.1 ネットワーク運用

ネットワーク運用とは、ネットワークを使用して、複数のパソコンで運用する方法です。

※ネットワークで運用する場合、事業所内に限ります。事業所間をまたがった使用はできません。



■ ライセンスサーバ

ライセンスを管理するパソコンを**ライセンスサーバ**と呼びます。

ライセンスサーバでは実際にキーを接続するだけでなく、ライセンスサーバ上でクライアントと通信を行い、ライセンスの管理を行う**ライセンスマネージャ**を実行します(ライセンスマネージャが起動していないとプログラムを起動することができません)。

※ライセンスサーバはネットワークサーバである必要はありません。

■ クライアント

プログラムをインストールし運用するパソコンを**クライアント**と呼びます。

4.2 スタンドアロン運用

スタンドアロン運用とは、ネットワークを使用せず、パソコン単体で運用する方法です。

【ライセンス&プログラムを管理】



5. JSP ユーティリティのインストール

JSP ユーティリティは、端末環境設定やキー情報登録を行う際に使用します。

JSP ユーティリティをインストールすると以下の2つの機能が一括でインストールされます。

機能	説明
キー情報登録	キー情報ファイルの確認、キー登録情報の更新、キー登録内容の確認を行う
端末環境設定	プログラムの運用環境や通信条件の設定を行う

◆運用環境によるインストールの必要有無

運用環境	対象パソコン	インストール有無
ネットワーク運用	ライセンスサーバ	有
	クライアント	有
スタンドアロン運用	単体で運用するパソコン	有



①.

表示画面に従ってインストールを行ってください。

初期設定フォルダ:

¥JSP¥JSPUTL



②.

最後に左図が表示されましたらインストールは完了です。「完了」ボタンを押して終了してください。

6. JSP ユーティリティの機能

6.1 キー情報登録

プロテクトキーに対して、キー情報の登録や登録されているキー情報の表示を行います。

◆運用環境による設定の必要有無

運用環境	対象パソコン	設定有無
ネットワーク運用	ライセンスサーバ	必要
	クライアント	---
スタンドアロン運用	-----	必要

6.1.1 キー情報ファイルの確認

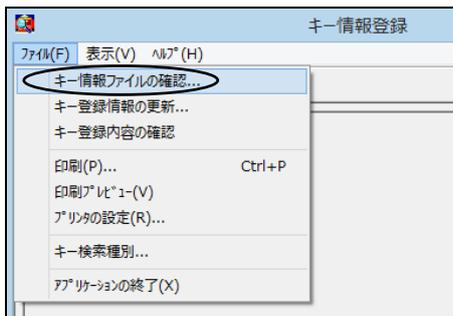
キー情報ファイル(*.k2k)の内容を読み出して画面に表示します。

キー情報ファイルの読み出しを行う場合は、**必ずプロテクトキーを接続している必要**があります。



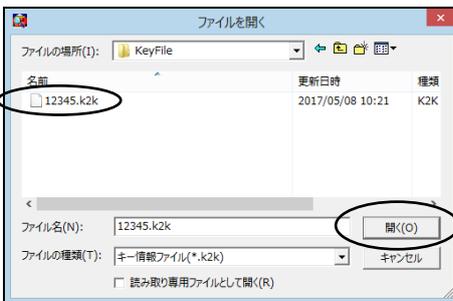
①.

[JSP]の中にあります「キー情報登録」を実行してください。



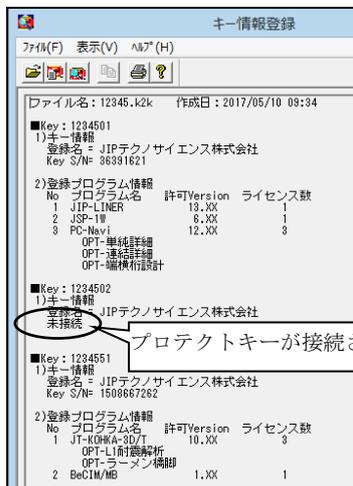
②.

[ファイル(E)]メニューの「キー情報ファイルの確認...」を選択してください。



③.

キー情報ファイル(*.k2k)を指定し、「開く(O)」ボタンを押してください。



④.

キー情報ファイルの内容を読み出し表示します。

[ファイル(E)]メニューの「アプリケーションの終了(X)」を選択し、終了してください。

6.1.2 キー登録情報の更新

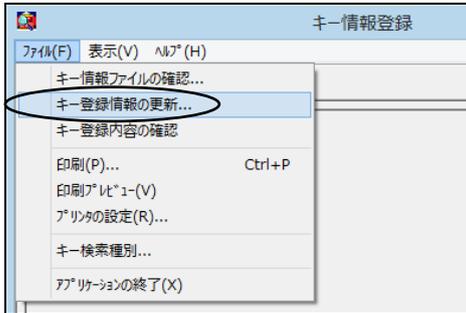
キー情報ファイル(*.k2k)を読み出して、プロテクトキーにキー情報を登録します。

キー情報を登録する場合は、**必ずプロテクトキーを接続している必要**があります。



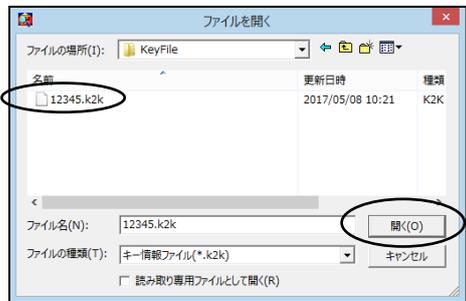
①.

[JSP] の中にあります「キー情報登録」を実行してください。



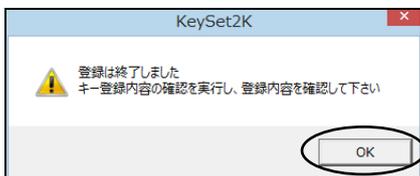
②.

[ファイル(F)]メニューの「キー登録情報の更新...」を選択してください。



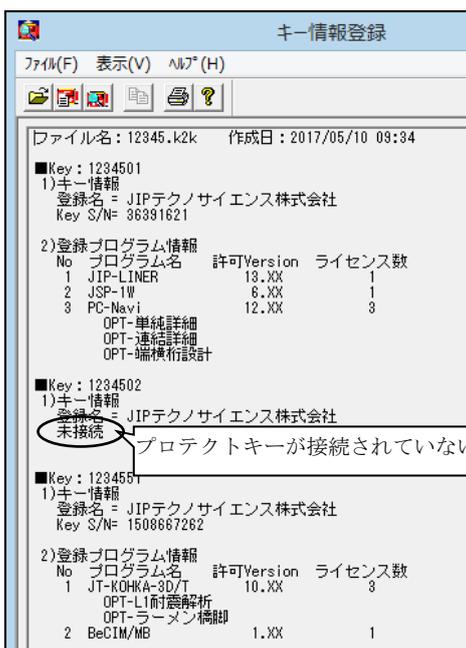
③.

キー情報ファイル(*.k2k)を指定し、「開く(O)」ボタンを押してください。



④.

プロテクトキーにキー情報を登録しました。「OK」ボタンを押してください。



⑤.

登録情報を表示していますので確認してください。また、所有しているプロテクトキーの本数やキーIDも確認することができます。

[ファイル(F)]メニューの「アプリケーションの終了(X)」を選択し、終了してください。

6.1.3 キー登録内容の確認

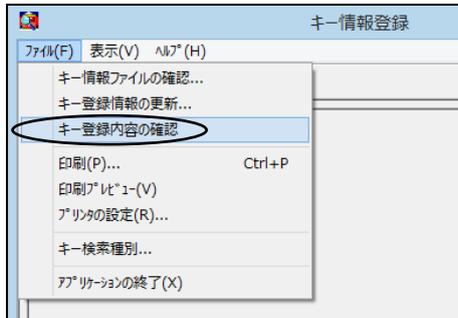
プロテクトキーに登録されているキー情報を読み出して画面に表示します。

キー登録内容の読み出しを行う場合は、**必ずプロテクトキーを接続している必要**があります。



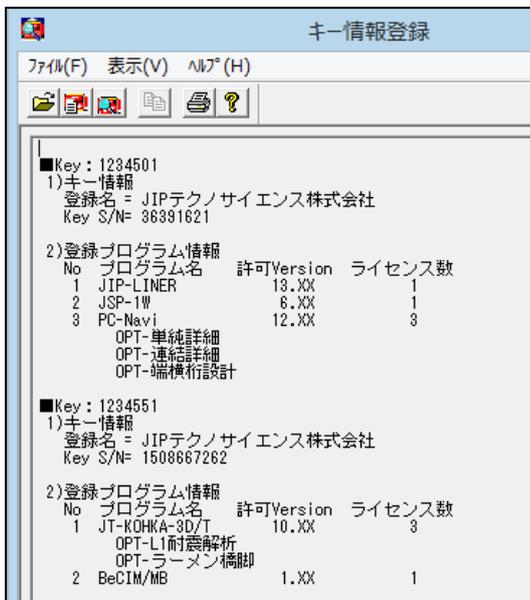
①.

[JSP] の中にあります「キー情報登録」を実行してください。



②.

[ファイル(F)]メニューの「キー登録内容の確認」を選択してください。



③.

プロテクトキーに登録されているキー情報の内容を読み出して表示します。

[ファイル(F)]メニューの「アプリケーションの終了(X)」を選択し、終了してください。



CHECK

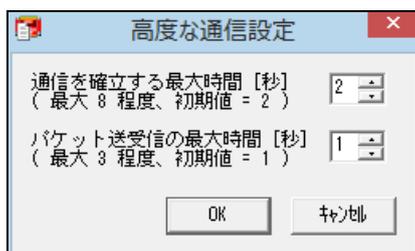
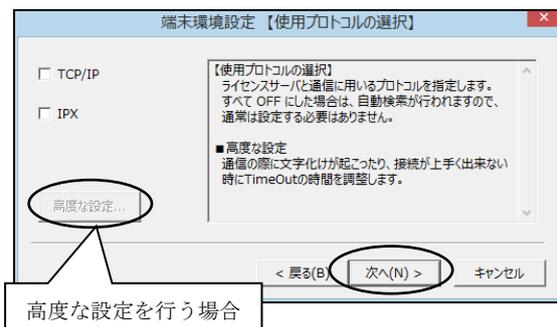
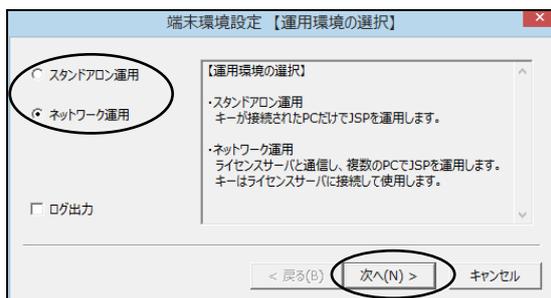
内容を選択してコピーすることができます。

6.2 端末環境設定

運用環境や通信条件の設定を行います。

◆運用環境による設定の必要有無

運用環境	対象パソコン	設定有無
ネットワーク運用	ライセンスサーバ	---
	クライアント	必要
スタンドアロン運用	----	必要



①.

[JSP] の中にあります「端末環境設定」を実行してください。

②.

運用環境を以下の項目から選択し、「次へ(N)」ボタンを押してください。

- ・「スタンドアロン運用」
- ・「ネットワーク運用」

CHECK

「スタンドアロン運用」を選択した場合は、「⑤」へ飛びます。

③.

通信に用いるプロトコルを指定します。全て OFF にした場合、自動検索が行われますので、**通常は設定する必要はありません。**

- ・「TCP/IP」
- ・「IPX」

CHECK

高度な設定を行う場合は、通信に用いるプロトコルのいずれかにチェックをしてください。

④.

ライセンス取得が不安定な場合に値を調整します。

- ・「通信を確立する最大時間 [秒]」
Login が不安定な場合に調整を行います。
(最大 8 程度、初期値=2)
- ・「パケット送受信の最大時間 [秒]」
文字化け等が発生する場合に調整を行います。
(最大 3 程度、初期値=1)

注意

サーバとの更新待ち時間を設定しますので、時間を長くすると通信が確立しやすくなる代わりに、待ち時間がかかるようになります。

⑤.

設定条件を表示していますので、内容を確認し、「完了」ボタンを押して終了してください。